

一期一会「出会いに感謝」

高知中学高等学校PTA会長
細川洋伸

はじめに

早いもので、会長職をお預かりして4年目になります。最初
は手探りの中、行っていた責務
でしたが、多くの先生方や関係
者の皆様、そして、お子様の卒
業と共に退任された先輩の皆様
の温かいご指導のお陰で無事こ
こまでやってこることができ、
厚く御礼申し上げます。

また、多くの先生方や子供た
ちと共に汗をかいて走ったこと
や脳内に汗をかいて一緒に悩ん
だことなど、沢山の思い出を頂
いたことが昨日のように思えま
す。

そして、この数年間で私なり
に感じたことは、「学園教育」
の素晴らしさは先生方が泥臭く
生徒と向き合っていることにあ
るということです。

我々保護者は、我が子1人に
対し1人、多くても3人、4人
程度ですが、先生方の受け持
つ人数は1クラス20人、30
人超になり、多感な時期の子供
たちとそれはそれは真摯に向き
合ってくれています。

朝早くからの早朝練習、そし
て毎朝のホームルームからの授
業、終わってからの補習授業や
部活動、休日ともなると試合の
遠征や運転まで、さらには次の
ステップの準備等、息つく暇も
ありません。

先日行われた卒業式での謝恩
会の際、「先生！お疲れさまで
した。少しはゆとりが来ます
ね？」との問いに対し、先生は
「もう次の準備がありますか
ら・・・」とひと時の休息を楽
しみながらも少し厳しい目で、
次の子供たちとの出会いを楽し
みにしているかのようでした。
そんな先生と共に真っ直ぐ目
標に突き進む子供たちの姿に、
我々大人はどう向き合うのか、
PTAとしても更に泥臭く歩み
を進めて行きたいと考えます。

出会いに感謝

先日のこと、我が子の友達が
家に遊びに来ていました。何気
ない会話でしたが「あと数ヶ月
もするとお前とこうやって一緒
に遊ぶこともなくなるね」「ま
た明日ね！が無くなるって少し
変だね」と今置かれていた環境
を確認しつつも、少し寂しそう
に、また照れくさく笑っていま
した。そんな何気ない会話でし
たが、自分の青春時代を思い出
しながら、一緒に笑っている子
供の友人たちに改めて感謝と青

春時代の素晴らしさを感じたこ
とであります。
そのような想いからも「一期
一会」の精神を今一度考えてみ
ようと思います。

一期一会

我々の住み暮らす現代社会は、
先人たちの血の滲むような努力
と研鑽のお陰で多くの便利な
ツールが生まれました。そのおかげ
で、高知にいても県外、国外
の方とボタンをクリックするだ
けで簡単に出会える世の中にな
りました。その反面、人間関係
も希薄になりつつあるように
思えます。

「一期一会」を少し調べてみ
ますと、「生涯にただ一度まみ
えること、一生に一度限りの出
会いであること」とあります。
確かに自分の人生を振り返って
みても、会いたくても会えない
恩師、高校卒業以来会っていない
友人の顔が思い出されます。
また、卒業していった生徒たち
は、今どこで何を感、何を
思っているのだろうと想いを馳
せます。

そんな時代だからこそ、自分
の人生を振り返ったときに、中
身の濃い出会いが求められてい
るのではないのでしょうか。

PTA事業内容

・学校行事に対する積極的な参
加
・学園祭やバザー、三者協力会
など学校で行われる行事へ積極
的に参加することで生徒たちや

先生方との交流が生まれ、学校
活動へ寄与する。

・各支部や保護者との訪問、交
流

各支部への訪問を先生方と積
極的に行い、学校をより知って
いただくとともに、交流を通じ
て普段聞けない声を吸い上げ今
後の活動に生かす。

・各クラブへの訪問

各クラブでの取組などにおい
て先生や保護者の皆様との交流
を行い、そのクラブにおける思
いや問題等を理解、解決してい
く。

・新入生増加に向けた取組

昨今の少子化の問題における
生徒減少問題を、学校側だけに
任せるのではなく、我々PTA

平成29年度PTA総会開催

5月13日(土)の11時から、
本校体育館においてPTA総会
を開催いたしました。

総会に先立ち、学校から学年
ごとに担任・副担任の先生をご
紹介いただき、そのあと議題の
説明や審議に入りました。

すべての議題についてご出席
の皆様の承認をいただくことが
できましたので、高知学園PTA
は平成29年度の事業内容に沿
って活動していきます。

ご出席いただけなかったご家
庭におかれましても、総会資料

も自分たちの問題としてとらえ
能動的に行動していく。

結びに

学校とは、一つの「心のふる
さと」であると思います。卒業
し社会人になり荒波にもまれ、
ふとした時に思い出す懐かしい
日々・・・「あいつどうしてる
かな?」「先生は元気かな?」
と昔を懐かしみつつも明日を頑
張る活力になっていると思いま
す。

そして、人の逞しさや優しさ
は、出会った人数の多さではな
く、どれだけ人と濃密な時間を
過ごしたかで測れると思います。
「学校という出会いの宝箱で、
一人でも多くの、かけがえのな
い一期一会」がありますことを
祈念し所信いたします。

を子供便にて配布させていただ
いてますので、ご一読いただい
ければ幸いです。

今年度
もPTA
活動に
ご協力
いた
だきま
すよう
、よろ
しくお
願い
いた
します。



高校「生き方」講演会について

西峯 信隆（高校・自立委員長）

この5月25日（木）、高校の全校生徒が参加して、体育館にて「生き方」講演会が開かれた。講師は有限会社クロフネカンパニー社長の中村文昭氏です。自身の努力で居酒屋を創業された氏の講演は、「人との出会いを大切にする」、「頼まれ

聞き入り、どのような困難な場面においても腐らずあきらめず、前向きに進む氏の生き方は生徒の心にも少なからず訴えるものがありました。特に卒業後の進路を控えた3年生は自分の生き方に対しても得ることが多かったと思っています。

「一見「不遇」に見える境遇であっても、それに立ち向かう強さがこれからの将来を担う若い世代にはいっそう求められており、氏の講演はそのことを真正面から示すお話で、私も教員も大いに感銘を受けました。生徒自身が、遠い未来までより良い人生を過ごしてほしいと常に願ってやみません。

このたびのご講演は、本校のレオクラブを長年にわたってご支援くださっている栄産業株式会社の小松英男様がプレゼントしてくださったものです。



生徒を代表して、深く感謝申し上げます。

生徒の声

2年6組 生徒会長

中山 由佳

中村さんの講演会は今まで私が聞いてきた講演会とは全く違い、人生談を語るものだった。そうは言っても、どうせ失敗から今までどうやってここまで上りつめたかというあたりな話をするんだらうなと思っていた。しかし、私の予想は大きく外れてしまった。多くの講演会は、綺麗ごとを並べて淡々と話すというイメージが私の中では強かった。中村さんはそれとは逆で、世間の大人たちが決して口にしないような真つ黒な所の話までしてくれた。失敗を笑い話に変えたり、日々私たちが嫌だなと思っていることをズバズバ言ったりして、共感できることがたくさんあり、いつの間にか中村さんの世界に引き込まれていた。話の中で「色々な人との出会い」についてたくさん

語っていた中村さんだが、私も同じような経験があるなと思った。それが生徒会長になろうと思ったきっかけだ。祖母の友人が生徒会長だったという話を聞いて、最初はすごいなと思うだけだったが、その話には続きがあり、実は祖母の友人も不登校

で出席日数がぎりぎりだったというのだ。その瞬間、私は「生徒会長になれるのかな、今の自分を変えることはできるのかな、不登校でも祖母の友人がなれたんだから私にもできるはずだ、不登校だった私がどこまで変わったのかみせてやる」という思いが込み上げてきた。これが私を変えたきっかけだ。中村さんは、人との出会いときっかけを大切にしていると言っていたが、まさにその通りだと思う。

生徒会長になって色々な人と話す機会が多くなり、今まで私が関わったことのない人と話して自分の世界が広がった。自分から行動しないと何も変わらないし、私はそういう面白くない生活はしたくない。

中村さんはたくさん話をしてくれたが、本当に聞いて良かったと思った。たぶんこの先、こんな素晴らしい生き方をしてきた人の話など聞けないだろう。私は悔いのないよう、自分のしたいことをしながら楽しく生きていこうと決めた。

2年6組 村上 友香

中村さんの生き方講演会を聞いて、自分が夢を諦めない限り、いくらでも道は開いていくんだなと思いました。中村さんや中村さんのお兄さんは、私たちが思う「普通」や「無理だろう」

と思うことにとらわれず、自分の決めた道に向かって努力をして、実際に夢を叶えたのは本当にすごいなと思いました。私も中村さんを見習って、みんなの言う「普通」にとらわれず、自分が良いと思った道を歩んでいきたいです。

中村さんの言葉の中で一番心に残ったのは「頼まれごととは試されごと」という言葉です。頼まれて面倒くさいなと思ってたら、実際に嫌な顔をして相手を不快な気持ちにさせたりするのはなく、「よし、これは試されているんだな。全力でやっつやろうじゃないか！」などとモチベーションを上げて頼まれたことをする方が相手も不快にさせないし、全力で頼まれたことをしている自分を誰かが見て、新しいチャンスに繋がることもあるかもしれないと思いました。

私は今高校二年生で、あと少しで受験生なので、そろそろ進路を決めなければなりません。偏差値が高い大学へ行くことや有名な会社に就職することが良いと一般的に言われますが、生きている限り「安定」というものはないと思います。自分の夢に繋がる大学がすごく偏差値の高い大学だったり、自分が本当にやりたいことがその有名な会社で出来たりするのだったら話は別ですが、自分の気持ちを無

視し、周りの人の「普通」、
「常識」といったレールに乗っ
て自分の人生が人に左右される
のは違うと思います。人と違
道や、世間一般の「常識」から
外れるのはすごく怖いと思いま
すが、自分が心地よいと思う道
を歩んでいく方が良いと思いま
す。一度きりの人生なので、常
識の枠にとらわれずに自分らし
く生きるのが一番です。

中村さんのように、自分らし
く全力で生きていきたいと思
いました。「頼まれごととは試され
ごと」という言葉を心にとめて、
これからの生活に活かしてい
きたいと思いました。

1年6組 平松 陽奈

私が中村さんの講演会を聞い
て最初に思ったことは、中村さ
んの人生って波乱万丈ですごく
おもしろいなということです。

最初中村さんを見た時はアロ
ハシャツに短パンという格好
だったので陽気な方なのかと思
っているときと実際その通りの方
で、とても気さくで明るい方で
した。中村さんの話は私たち高
校生でもとても聞きやすく、私
の中で特に印象に残ったお話は、
中村さんのお兄さんのお話です。
お兄さんは優秀な方で頭が良
かったにもかかわらずカメラマ
ンになりたいという夢を親に打
ち明ける話が見据えた高

校生にとって、とても心に残る
深いお話でした。お兄さんがお
父さんにカメラマンになりたい
思いを打ち明ける時に言った言
葉の中でも私が好きだなと思っ
た名言が「幸せにさえなれば
過去のことなんてどうだってい
い」という言葉です。終わり良
ければすべて良いという言葉が
あるように、今私たちが過ごし
ている時間は将来自分が幸せに
なるための道のりのようなもの
だと思うので、この名言にすご
く感動しました。

次に印象に残っているお話は
中村さん自身が飲食店をオープ
ンするためにホテルの調理場へ
修行しに行くお話です。鶏肉で
人の頭をぶつ怖い料理長に氣に
入れようと、必死に頑張る中
村さんのお話が本当に面白かつ
たです。その中でも「頼まれご
とは試されごと」という言葉は、
自分が頼まれたことを嫌がらず、
逆に相手を驚かせるくらい真剣
にやってやろうという意味の言
葉で、何事も面倒くさがってし
まう私はとても心に残りました。
最後に、中村さんの講演会を
聞いて思ったことは、学力以上
に大事なものは人間力ということ
です。自分の人生なんだから世
間体などを気にすることなく自
分がやりたいことを目一杯やり、
自分に合った「人に喜んでもら
える仕事」を探していけたらいい
なと思いました。

進路・特進部

進路・特進部長

小川 直人

今春卒業生の進路状況

今春の本校卒業生の進路状況
は、四年制大学進学で四六・
二％（全国約五・一％）と全国並
み。短大進学で二・八％（全
国約五・％）と多めで、昨年の
三・四％より上がっています。
これは学短進学者が七名から一
九名に大幅に増えたことが影響
しています。専門学校進学二
三・七％（全国約一・六％）、就
職五・一％（全国約一・八％）、
その他（各種学校・浪人・未
定）一一・二％（全国約一
〇％）でした。専門学校進学は、
全国の約一・五倍です。高知リ
ハに進学した生徒が一二名いた
ことが大きく影響しています。
現高三生の進路志望動向は、
五月時点で四年制大学希望が約
六三％と例年より多くなってい
ます。短大希望が約六％、就職
希望約六％で昨年よりやや少な
く、専門学校希望が約二一％、
未定約四％と昨年並みとなっ
ています。

高知リハフェローシップ入試

高知リハビリテーション学院
との連携教育フェローシップ参
加者を対象とした高知高校特別
入試（通称「フェローシップ入
試」）が導入されて今年で六年
目です。過去五年間の進学者数
に対してこの入試での進学者数
を見ると、一年目一九人中八人、
二年目は三一人中一八人、三年
目は一八人中一二人、四年目は
二〇人中一〇人、五年目は一二
人中五人となっており、多くの
進学者がこの制度を利用してい
ます。受験者全員が合格するこ
とは限りませんが、高確率で合格
しています。

高三フェローシップ生は、夏
休み中にも事前学習があります。
高二生は、これから本登録の募
集があります。興味のある人は
是非参加してください。

オープンキャンパスへの参加

オープンキャンパスとは、大
学、短大、専門学校が施設を開
放して、学校を詳しく知っても
らうためのイベントです。一年
中開催されていますが、多くが
夏休み中に開催されます。施設
を見学できるだけでなく、模擬
授業や在校生との交流など、実
際の学校生活をイメージしやす
い企画があったり、学校によっ
ては過去問などの入試情報が配
布されていることもあります。

学校のパンフレットやホーム
ページを見て開催期間・開催時
間を確認しましょう。ほとんどの
学校で高三生だけでなく高一・
高二生からでも、参加可能で
す。早いうちから学校の雰囲気
を感じたり、実際の授業などを
体験することで、今後の進路選
びの参考になるのでお勧めです。
また、日程等が合わない場合も、
平日に行ってみましょう。普段
の学校の雰囲気を知ることがで
きます

○高知リハビリテーション学院

七月一日、八月一九日

※その他日程もあり

○高知学園短期大学

七月二三日、八月二〇日

※その他日程もあり

○高知工科大学

七月二九日、三〇日

○高知県立大学

七月三〇日

○高知大学

八月五日、六日

夏休み中の進路に関する行事

夏休みには進路に関する行事
もたくさん計画されています。
夏休みが高三生にとって重要な
ことはもちろんですが、高一・
高二生にとっても重要です。この
夏休みには、積極的に補習や学
校見学、勉強合宿等に参加し、
自分の進路について考える機会

平成29年度入試 大学合格者のべ数（既卒含む）

高知大学	3	関西大学	1	千葉工業大学	35
高知県立大学	1	関東学院大学	1	中央学院大学	1
高知工科大学	3	吉備国際大学	2	帝京大学	2
和歌山大学	1	九州産業大学	1	帝塚山大学	1
朝日大学	1	京都外国語大学	1	天理大学	1
亜細亜大学	2	京都学園大学	1	東京経済大学	1
追手門学院大学	4	京都産業大学	15	東京農業大学	1
大阪学院大学	2	京都精華大学	1	東洋大学	3
大阪経済法科大学	1	近畿大学	12	徳島文理大学	7
大阪芸術大学	2	くらしき作陽大学	1	徳山大学	1
大阪産業大学	4	甲南大学	1	名古屋商科大学	2
大阪体育大学	1	神戸医療福祉大学	1	日本大学	1
大阪電気通信大学	1	神戸学院大学	6	阪南大学	2
岡山商科大学	1	神戸松蔭女子学院大学	1	福岡大学	2
岡山理科大学	2	札幌国際大学	1	松山大学	6
神奈川大学	2	四国学院大学	3	桃山学院大学	1
金沢工業大学	4	四国大学	1	立正大学	2
川崎医療福祉大学	2	城西国際大学	1	立命館大学	5
関西国際大学	4	専修大学	1	龍谷大学	3

を持ちましょう。

○補習前期A
七月二日～二六日

○補習前期B
七月二七日～三二日

○県外大学オープンキャンパス見学

八月五日・六日（一泊二日）

○補習中期A
八月一日～四日

○補習中期B
八月七日～一〇日

○補習後期
八月一四日～一七日（高三）

進学先の推移（現役数）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
国公立	9	5	9	11	6	9	6	6
私立大	106	93	104	111	91	99	99	66
短大 （学短）	23 (20)	20 (14)	18 (15)	28 (22)	20 (15)	21 (16)	7 (7)	20 (19)
専門学校 （高知リハ）	57 (26)	72 (26)	61 (18)	55 (19)	74 (31)	68 (18)	67 (20)	37 (12)
各種	8	6	4	4	14	4	3	6
就職	2	17	7	19	8	9	3	8
その他	28	27	22	19	18	15	18	13
卒業生	233	240	225	247	231	225	203	156

八月一六日～一九日（高一・高二）

○高三第二回校外模試（全統マーク模試）
八月一八日・一九日

○夏期勉強合宿（スポーツパレス春野）
八月二三日～二五日（二泊三日）

（6月26日月曜日四限）
本県出身の落語家で真打ちとして活躍なさっている瀧川鯉朝さんをお招きして、高校三年生を対象に落語鑑賞会が開かれました。



落語鑑賞会を開催しました

平成29年度 四国高校総体結果

【団体】

優勝

男子バレー部 (初優勝・県勢としても28年ぶり)

男子剣道部 (15年ぶり)

【個人】

3位

ライフル射撃部

ビームピストル少年男子立射40発競技

宮田 和政 (3年)

ビームピストル少年女子立射40発競技

吉田 真奈 (3年)



平成29年度 高知高校県体成績

【団体】

優勝

9団体優勝 (県NO.1)

男子剣道 (3年ぶり31度目)

男子体操 (10年ぶり29度目)

男子少林寺拳法 団体演武
(初優勝)男子10mエアライフル立射60発団体
(2年連続5度目)男子ビームライフル立射60発団体
(3年ぶり8度目)

男子バレー (5年ぶり16度目)

男子水泳 (7年ぶり36度目)

女子剣道 (2年ぶり13度目)

女子体操 (4年連続15度目)

準優勝

男子柔道

女子柔道

男子弓道

男子テニス

女子テニス



剣 道

団 体
男子 優勝 決勝 対 明德義塾 1－0 (3年ぶり31度目)
女子 優勝 決勝 対 高知小津 2－1 (2年ぶり13度目)

個 人
男子 優勝 木下海成 (2年) 2位 川元崇史 (3年)
3位 石川直輝 (3年)
女子 優勝 酒井香菜子 (3年) 2位 佐竹 蘭 (2年)
3位 永野絢香 (2年)

弓 道

団 体
男子 準優勝

決勝リーグ
3勝2敗

卓 球

団 体
男子 対室戸 0：3 予選敗退

個 人
ダブルス 川口 大樹 (3年)・門田 瞬 (3年) ベスト8 (四
国大会出場)

男子硬式テニス

団体戦 準優勝 対土佐 1－2

個人戦 シングルス 優勝 岩瀬 京路 (2年)
ベスト4 上村 洋平 (3年)
ベスト4 土居 和希 (2年)
ダブルス ベスト4 上村洋平・岩瀬京路

女子硬式テニス

団体戦 準優勝 対土佐 0－2

個人戦 シングルス 準優勝 田所 千明 (2年)
3位 小原 更紗 (3年)

ダブルス 準優勝 小原・田所
3位 山崎 有花 (2年) 濱崎 葵 (2年)

男子バレー

決勝 対高知商 ○3-1 (5年ぶり16度目)

水 泳

男子総合 優勝 (7年ぶり36度目)
800mフリーリレー 優勝 土居 (1年) 光森 (2年) 西山
(2年) 本田 (2年)
400mメドレーリレー 優勝 土居 (1年) 西山 (2年) 本
田 (2年) 光森 (2年)
400mフリーリレー 優勝 土居 (1年) 光森 (2年) 西山
(2年) 本田 (2年)

松岡迅 (3年) 100m平泳ぎ 3位
本田翔規 (2年) 200m個人外泳ぎ 優勝 400m個人外泳ぎ 優勝
西山湧也 (2年) 200m平泳ぎ 2位 200m個人外泳ぎ 2位
川村昂也 (2年) 200mバタフライ 3位
土居侑矢 (1年) 100m背泳ぎ 2位 200m背泳ぎ 優勝

女子総合 6位
首藤大果 (1年) 100m平泳ぎ 3位

柔 道

・男子団体 ○準決勝 対高知南 3：1
●決勝 対岡豊 0：4 準優勝

・女子団体 ○準決勝 対宿毛工業 2：1
●決勝 対岡豊 1：2 準優勝

・男子個人 73kg級 第3位：山中 将志 (1年)
81kg級 第2位：石村 光基 (3年)
90kg級 第2位：金枝 将太郎 (3年)
第3位：藤村 大輝 (1年)
100kg級 優勝：北村 昂之祐 (2年)
100kg超級第2位：原 功成 (3年)

・女子個人 48kg級 第2位：片田 晶 (1年)
52kg級 優勝：山中 穂乃香 (1年)
57kg級 優勝：植村 巴 (2年)
78kg級 第2位：山本 れい (3年)

陸 上

高知市陸上競技大会
岡村 豊寿 (1年) 一般 やり投げ 第2位
日浦 理子 (1年) 一般 200m 第3位

高知県陸上競技選手権大会
西森 瑠香 (1年) 7種競技 優勝

高知県高校総合体育大会
岡村 豊寿 (1年) やり投げ 4位 (四国大会出場決定)
谷 圭太 (2年) 三段跳 5位 (四国大会出場決定)
榮枝 隼人 (1年) やり投げ 5位 (四国大会出場決定)

体 操

《男子団体総合》
第1位 (猪野、岡村、山本) (10年ぶり29度目)

《男子個人総合》
第2位 猪野 笙之介 (2年)
第3位 岡村 太洋 (1年)

《男子種目別》
ゆか 第1位 岡村 太洋 第3位 猪野 笙之介
あん馬 第2位 猪野 笙之介 第3位 岡村 太洋
つり輪 第2位 山本 蒼汰 (2年) 第3位 猪野 笙之介
跳馬 第2位 山本 蒼汰 第3位 猪野 笙之介
平行棒 第2位 山本 蒼汰 第3位 猪野 笙之介
鉄棒 第2位 山本 蒼汰 第3位 岡村 太洋

《女子団体総合》
第1位 (山中、秋山、村上、和田) (4年連続15度目)

《女子個人総合》
第1位 山中 倫華 (3年)
第2位 秋山 真凜 (2年)
第3位 村上 遥菜 (2年)

《女子種目別》
跳馬 第1位 山中 倫華 第2位 和田 唯那 (1年)
段違い平行棒 第1位 山中 倫華 第3位 村上 遥菜
平均台 第1位 山中 倫華 第2位 秋山 真凜 第3位
和田 唯那
ゆか 第1位 山中 倫華 第2位 秋山 真凜 第3位
村上 遥菜

ライフル射撃

男子ビームライフル立射60発団体 (田内・渡邊・杉本) (3年
ぶり8度目) 優勝

個人 優勝 杉本 拓海 (3年) 3位 田内 雄己 (3年)
男子10mエアライフル立射60発団体 (田内・吉田・杉本)
(2年連続5度目) 優勝

個人 優勝 杉本 拓海 3位 田内 雄己 (3年)

男子10メートルビームピストル40発

個人 優勝 政平 誠人 (3年) 準優勝 宮田 和政

3位 伊藤 暉 (3年)

女子10メートルビームピストル40発 優勝 吉田 真奈 (3
年)

サ ッ カ ー

3位 対追手前 0-0 PK5-4 (3位決定戦)

少林寺拳法

男子団体演武 優勝 (初優勝)

組演武 優勝 中川 博喜 (2年)・津野 龍生 (2年) 準優勝
須賀 広太 (3年)・市川 貴也 (3年)

女子単独演武 準優勝 濱田 歩夏 (3年) 3位 寺尾 真耶
(1年)

組演武 優勝 岩村 真佑 (3年)・中山 あや (3年)

空 手

男子個人組手3位 岩井 隆明 (2年)

硬 式 野 球

1回戦 対高知商 ●3-11

男子バスケットボール

1回戦 対中村 ●64-65

女子バスケットボール

1回戦 対春野 ●49-73

バドミントン

個人戦 1回戦敗退

